

ばぶよち ぴょん!

～子育て支援のページ～
Vol.10

子育て中のパパ・ママに聞いた『子育てアンケート』結果2 うちの子どもが喜ぶオススメ絵本

(※一部回答・意見を抜粋)



はらぺこあおむし

エリック＝カール作

子どもがお菓子の絵を食べるマネをします

おやすみ

なかがわりえこ作

寝る前に読むと寝る準備ができます

いないいないばあ

松谷 みよこ作

マネをして、いないいないばあをしたり、飛んだりくっついたり転がったりするので、親子で笑顔になります

ぴょん

まつおか たつひで作

くっついた

三浦 太郎作

だるまさんシリーズ

かがくいひろし作

その他にも、「もこもここ」「がたんごどん」「どうぞのいす」「のりたいな」「おひさまあはは」「がったんごつとん」「ねないこだれだ」「まるまるまるの本」「きんぎょがにげた」(タイトルのみ・順不同)、音が出る絵本や図鑑、キャラクター絵本(アンパンマンやノンタンなど)が人気でした。

※このページで紹介した絵本は、毛呂山町立図書館☎(295)1015に蔵書があります。

アンケートの回答は、1～2歳児のお母さんが中心です



「子育てアンケート」は平成27年4～5月に、町内の子育て施設で実施しました。ばぶよちぴょんでは、特に反響の大きい項目をご紹介します。なお、アンケート全体の回答は、町ホームページで公開しています。

【アンケート実施施設】子育て支援センター☎(294)4820、毛呂山みどり保育園子育て支援センター☎(294)1115、東公民館子育て支援室☎(294)1800、児童館☎(295)4111 ご協力ありがとうございました。

毛呂山歴史散歩 第260回 信仰と巡拝の旅 ～江戸時代の旅事情～

江戸時代後期から、農閑期などを利用した旅行が庶民に普及しました。伊勢神宮へ参詣する「伊勢参り」や坂東、西国、秩父などで百観音の霊場を巡拝する「札所巡り」など、当時の旅行は寺社への参拝が目的でした。

嘉永5年(1852)毛呂本郷地区で数年間掛け金を積み立て、総勢28人で伊勢神宮へ参詣の旅に行ったことが記録に残っています。そして遠方への参詣・参拝を終えた人たちは、記念に供養塔を建てました。

玉林寺地区には、百か所の札所巡りを達成した記念に天保5年(1834)に建立した浮き彫りの観音像があります。西戸地区にも、万延元年(1860)に札所および四国88か所をめぐった巡拝塔が残っています。

また、当時、様々な事情で長旅ができない人のために、札所の写しを近くに設け、それを巡拝して本来のご利益を得る「写し巡礼」も行われました。近隣でも高麗・比企・入間・横見(現在の比企郡吉見町)4郡の寺社で御霊所を結成し、四国88か所の写しを設けました。参加した寺院は108か所。町内では、行蔵寺(滝ノ入)、宝福寺(大谷木)、延命寺(下川原)、南蔵寺(川角・明治時代に廃寺)、山本坊(西戸・現存しない)が加わりました。近在の御霊所を巡拝することでご利益を得ようとする人びとがいたことは、当時の信仰心の表れかもしれません。

他にも、「善光寺詣」、「榛名講」、「大山講」、「富士講」など多様な参詣の旅があり、多くの人が団体で旅をしました。単なる信仰のための巡拝というだけでなく、共に参詣することで地域でのつながりを深める意味合いもあったのではないのでしょうか。



玉林寺の巡拝塔